

平成 25 年度小国地域委員会第 1 分科会（活動報告）

平成 26 年 3 月 10 日

1 分科会等開催状況

- 7 月 12 日 テーマの確認、課題の抽出・整理
- 8 月 29 日 3つのテーマごとに意見交換
- 9 月 26 日 上記を踏まえ、検討課題「高齢者が気軽に集える場の確保」に決定
- 10 月 23 日 市内の高齢者福祉施設 3 か所を視察研修
- 12 月 11 日 視察研修のまとめ、今後の活動の方向と集約
- 2 月 14 日 小国地域の高齢者の状況等、保健師を交えて意見交換
- 3 月 6 日 「男が参加したくなる講座」座談会に参加、意見交換

2 検討課題の絞り込みの経過

- ・ 3 つのテーマについて項目ごとに検討を行い、女性と子どもが過ごしやすい環境整備、少子高齢化対策として、婚活活動が近々の課題との意見が多かった。
- ・ ただし、ふれあい推進協議会の活動とだぶることと、結婚はプライベートなことであり、地域委員会の活動としては少し疑問が感じられた。
- ・ そんな中で、医療福祉や介護、すべての環境整備において、小国地域ではお年寄りが元気で過ごせることが大切であり、それが 3 つのテーマにつながると方向付けをした。
- ・ 特に主眼は男性である。女性はそれなりに付き合いを持てるが、男性高齢者は農作業に励み、空いた時間の過ごし方が下手なのか・・・何とかして高齢者の生きがい、張り合いの場を作りたい。そのようなことを話し合い、検討課題を「高齢者が気軽に集える場の確保」とした。

3 「市内の高齢者福祉施設 3 か所を視察研修」の成果

旧長岡市内の高齢者福祉施設で、お年寄りがカラオケなど楽しんでいるようなことから、まずは実態を視察してすることとした。

視察施設は「長岡ロングライフセンター、高齢者センターみやうち、老人福祉センターお山の家」の 3 施設

視察の目的を「施設、設備の視察と参加者の声を聞く」こととした。

- ・ 3 施設とも男性の姿が多く、男女ともに楽しんでいた。カラオケ、囲碁、将棋、お喋り、お風呂、体操など
- ・ 週 3 回来るという人もおり、1 日ゆっくり過ごす。これが健康の秘訣。
- ・ カラオケ施設のレンタル料、順番を守るための進行役など、施設側の苦勞

も聞かせていただいた。

- ・ 食事等は持ち込みが多く、食堂はなくても良いのか。お風呂はあった方が
良いが、それほど必要性は感じなかった。

4 「男が参加したくなる講座」座談会に参加、意見交換の内容

- ・ 農業の話を良くする。これを中心にした講座はどうか
- ・ 男だけになると料理が大変なので料理教室を開催してほしい。
- ・ パソコン教室を開催してほしい。誰でも集落会計が出来る技術の養成。
- ・ 家庭の中に引きこもらないような場所や活動の確保が必要。
- ・ 講座のように堅苦しくなく、自由に集まれるほうがよい。

この会議の後、分科会を開き今の会議の意見感想を軸に退職後、家に引きこもり、集まりに出て来ない人の対策や集まれる条件は無いかなど話し合いを行いました。

- ・ 自由に集まれる場所として、「だんだん」にその機能はあるか
- ・ 興味のある講座と自由に集まれる場所の両立が可能か
- ・ カラオケや囲碁、将棋などの趣味との両立が可能か

などの話がどんどん出ましたが、集約し活動に結びつける困難さを感じました。

5 今後の分科会活動の進め方について

(1) 施設整備の検討

- ・ 利用施設、カラオケの整備、交通手段など

(2) 気軽に集える仕掛けの検討

- ・ 社会福祉協議会や老人クラブ連合会との連携
- ・ コミュニティセンターの活動として、事業運営の検討
(部会事業の検討、コミセン主事の活用など)
- ・ 地域復興支援センター支援員との連携、検討

小国地域委員会「第2分科会」 ひまわり保育園父母の会意見交換会要旨

1 開催日 平成26年1月28日(火)

2 意見交換要旨

(1) 子育てや、教育環境での現状と問題点(地域、学校生活の面から)

①学校の児童数が減少していることによる現状と問題点

- ・小学校の人数減で統合の話題が保護者同士の間で出ている。誰がどうするのか分からないが、親が声を出さないといけないと他の人から聞いた。
- ・部活が少ない。生徒数が少ないので団体競技は難しいかもしれないが、個人競技の部活はぜひ設置してほしい。中学生の中で体力を持て余している子が多いと思う。
- ・中学校の部活の種類が減っている。私の子どもはサッカーをやるために越路に行く。
- ・児童数の減少を見ると、自分の子どもが小学校にいる5~10年後に不安を感じる。
- ・同級生が少ない集落が多い。学校では先生と距離の近い関係を築けていると思っているが、旧長岡市内の学校と学力を比べると小国は落ちると聞いた。競争心がないのだと思う。
- ・他の中学校を検討している。児童数の減少で友達が少なくなるのではと思う。
- ・子どものことを考えて越路に引っ越し人の話を聞くことがある。
- ・サンコーポラスは子どもが多いが児童数の減少の数字をみると不安になる。

②登下校や、放課後に関する現状と問題点

- ・下校時人数が少なく不安を感じる。

③子育てを行っていくうえでの現状と問題点

- ・集落に友達もいない、親も仕事で日中いないため、テレビばかり見ているので週末は“ぐんぐん”や“てくてく”に連れて行っている。
- ・PTA等の役員がすぐ回ってきて大変だと聞いている。
- ・集落に子どもがいないため、育成会も無くなり、親同士の関わりがない。

(2) 子どもの育てやすい環境を整備するには

- ・集落に子どもがいない。保育園に入る前は一人で遊んでいたが、保育園に入園したり、ママ友サークルが出来て子ども同士や親同士が仲良くなることが出来た。今後もこの活動を続けてほしい。
- ・今年はポニーカーニバルが実施されて、子どもを連れていくことができるとても良かった。
- ・“だんだん”ができたことでイベントが増えて良かったと思う。今後はもっと充実させてほしい。
- ・小国町に住むメリットを作って子どもの数を増やせないか。
- ・現在パートタイムで勤務をし、今後勤務時間を長くしたいと考えているが、おひさま児童クラブは夜は18時まで、朝は8時からしか預かってもらえない。
- ・核家族で、町内に親族もいないため、協力者がいない。児童クラブの改善をぜひお願いしたい。
- ・サンコーポラスは腰かけなので、サンコーポラスから出て行く先は小国であってほしい。地域内での住宅購入に、補助が出る等の施策があっても良いと思う。

(3) 教育環境を良くしていくためにはどうしたら良いか

- ・小学校は一つになったら良いと考える。
- ・ひまわり保育園で仲良くなった子が小学校で分かれてしまうのは可哀想。

(2)・(3) どちらにも関わるもの

- ・小学校を統合して、バスでの送迎を検討してもらいたい。
- ・学校が一つになるのかと思っているが、子どもが登下校で歩かなくなり、集落で子どもを見なくなってしまふ。統合は反対ではないが、地域との関わりが必要だと思う。

『子育てや教育環境』に関するアンケート調査の実施について

1 趣 旨

少子高齢化が顕著に進む当地域において、地域活性化の中核となる子育て世代の重要関心事である「子どもを取り巻く教育環境や子育ての実態」を把握し、今後のまちづくりの方向性を探る基礎資料とするため、アンケート調査を実施するもの。

2 調査対象者

- 保育園及び小学校に在籍する児童の保護者（保育園児童数=106名、小学校児童数196名）
- 就学前の在宅児童の保護者（市が主催する子育て関連事業の参加者とする） 約30名

3 調査方法

(1) 保育園及び小学校に在籍する児童の保護者

- 保護者全員を対象とし、調査票の配布及び回収は、小学校及び保育園に依頼する。
- 小学生以下に兄弟姉妹がいる場合は、どちらか一方の回答とする。

(2) 就学前の在宅児童の保護者

- 市が主催する子育て関連事業の参加者を対象とし、調査票の配布及び回収は、市担当者が行う。
- 小学生以下に兄弟姉妹がいる場合は、保育園又は小学校の調査を優先する。

4 調査項目

- ① 基礎項目（居住小学校区、子どもの人数、家族の人数）回答者の年齢・性別？
- ② 子育てに関すること
 - ・悩みの内容、相談相手の有無
 - ・子育てしやすい環境づくりのためには…
- ③ 教育環境に関すること
 - ・児童数の減少に伴う影響
 - ・教育環境を向上するためには…
(地域の取組み、保護者の取組み、学校の取組み、行政の取組み等)
- ④ その他（第1分科会からの要求があれば加える）

5 調査の実施時期

- 調査票の配布 月 日～ 日の間に配布する。
- 調査票の回収 月 日をめどに回収する。（1週間～10日後に設定）

6 調査内容の集計・活用等

- ① 地域委員会第2分科会員を中心に、回答内容を集計する。
- ② 集計結果をもとに、今後の方向性の素案(求められる子育てや教育環境像)を作成する。
- ③ 素案をもとに地域員会において今後の方向性を検討する。